

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和5年 2月 10日

事業所名: もりのね

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		利用希望になるべく対応出来るように活動内容を工夫している	日により利用人数に差があり適切でない日がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			休みが重なり配置が不足する日もある為職員の休みの調整を行って安定した配置に気をつけていく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		段差にはクッション材を使い準備はしている	クッション材が気になり取る子も居るため外れている時もある。毎日の点検を再徹底していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			前回は各家庭に事業所評価を配布した。今年度も確実に渡せるよう家庭への配布を考えています。ホームページの所在について開示方法を検討していきます
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第3者不明で周知されていない。毎年同様な意見が出るが改善されていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		自主研修の参加	業務の一環としての研修は心理ややまびこさんから研修を受けている
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			TASPや新版K式発達検査を利用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		中間評価を行う際確認を行い計画を立てている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			全職員の支援の共通理解を目指していきたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームではなく社員の担当者(3名)で立案しているが活動の内容はその日のリーダーが考えている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節や園の行事子どもの現状を把握し計画している	今後も個々の利用児の現状を園、専門機関、保護者から確認を継続しながら活動を計画していきます。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個々に応じた対応は共通理解している		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日支援前にはミーティングを行っている	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		昼休憩、支援後職員同士で話し合いをしている	時間を作り出来る限り全職員での振り返りをしていきたいです。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援の検証についての業終了後の時間になる事も多いため、今後は勤務内で少しでも検証できるよう努力していきます
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		年に2回(誕生半年、誕生月)は実施している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			受け入れなし
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			受け入れなし
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	公開療育に申し込みをしているが人数制限で参加出来ない	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	公園遊びでは地域の園や事業所と一緒にいる時には交流があるが事前の計画は行っていない。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			連絡会へは参加出来ている
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者勉強会を実施し相談に対しては心理支援日に母子参加の案内を行っている	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に行っている	契約時に行っているが保護者にきちんと伝わっていない事もある。更に丁寧な説明を行っていきます。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			説明の内容や方法が保護者により差がある。なかなか来所出来ない保護者へもう少し丁寧に説明していきます。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			対応できる職員が固定化している。どの職員に対しても相談できるよう関係性を築いていけるよう努力します。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者勉強会の席は子ども同士関わりのある保護者同士の席にしている。	コロナの状況で今は実施出来ないが落ち着いたころには土曜開所日に計画していきます。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			クレーム対応については現場で出来る事は敏速に対応はしている、今後も適切な対応を心がけていきます。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月の活動表で情報を発信しているが全保護者が確認されているかは把握できていない。お伝えしたいときには全体の分プラス個別の案内や声掛けを継続していきます。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の書類は鍵のついた保管庫に入れている。また、情報の共有時には保護者の承諾を得ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		文書やメール、口頭で分かりやすく伝わるように対応している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		事業所だけのイベントになっている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		訓練については活動計画に記載しています。	職員用の資料は作成してあるが保護者への周知が出来ていない為面談や契約時に伝えて行きます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練の実施の案内は活動予定表やリトム帳に記載している。	全員参加の避難訓練は実施出来ていない。土曜開所など保護者参加の時にも訓練を計画していきたいです。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に確認を行っている。	今後も契約時に聞き取りを行っていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			コロナ感染対策中であるためおやつ提供は無いが今後おやつが再開した時には保護者の指示のもと対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		その場に居た職員それぞれに報告書をあげてもらい、防犯カメラをみて原因を追及している	今後も安全に気をつけながら、情報の共有、職員の意識の向上に努めていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会が年に数回事業所内研修が出来る	今後も事業所内研修を継続していきたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束、虐待防止委員会が年に数回事業所内研修の継続をしていきます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)